

# 第3章

## 市民の健康状況

### 第1節 保健統計からみた市民の健康

#### (1) 人口と年齢構成の推移

秋田市の人口は、平成17(2005)年1月の市町合併により33万人に達し、その後減少傾向が続いています。

年齢3区分別人口割合の推移をみると、生産年齢人口は戦後増加を続けましたが、平成17(2005)年以降は減少に転じています。年少人口は減少傾向が続き、平成9(1997)年には老年人口を下回りました。老年人口は増加が続き、令和22(2040)年には、65歳以上の高齢者一人を生産年齢人口1.1人で支えると見込まれています。【秋田市人口ビジョンより】

表1 秋田市の人口の年次推移

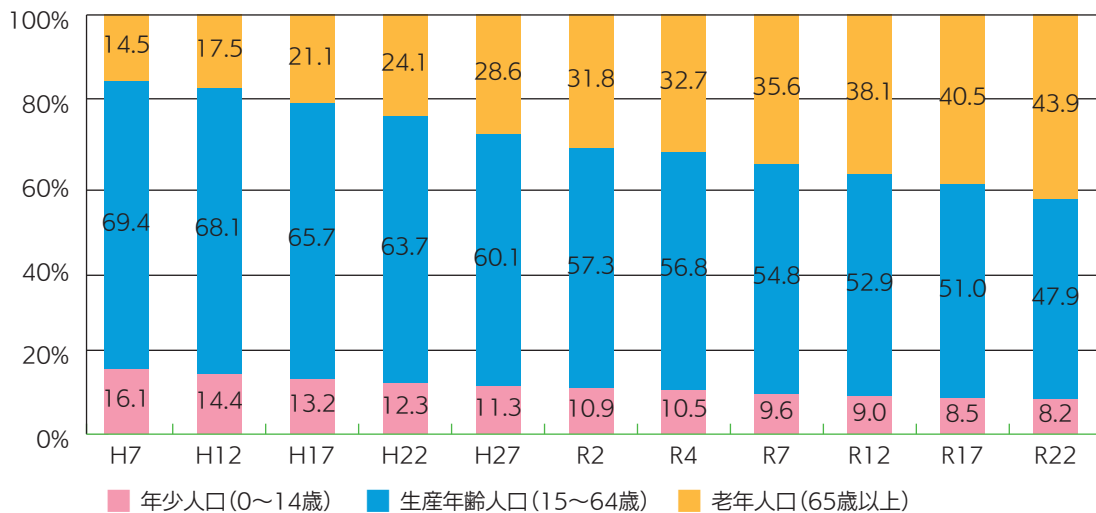
単位：人

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和4年	
総人口	311,948	317,625	333,109	323,600	315,814	307,672	303,048	
(再掲)	年少人口 (0～14歳)	50,169	45,655	43,879	39,574	34,916	32,809	31,295
	生産年齢人口 (15～64歳)	216,535	216,200	218,498	205,301	186,207	172,755	168,574
	老年人口 (65歳以上)	45,117	55,689	70,371	77,625	88,713	95,949	97,020
	年齢不詳	127	81	361	1,100	5,978	6,159	6,159

資料：秋田市年齢別・地区別人口 秋田市企画財政部情報統計課(各年10月1日現在)

※「年齢不詳」は、5年に1回行われる国勢調査の調査票に未記入や誤記入があり、年齢を正しく把握できなかったもの

グラフ1 年齢3区分別人口割合の年次推移(各年10月1日現在、令和7年以降は推計)



資料：秋田市年齢別・地区別人口 秋田市企画財政部情報統計課(各年10月1日現在)

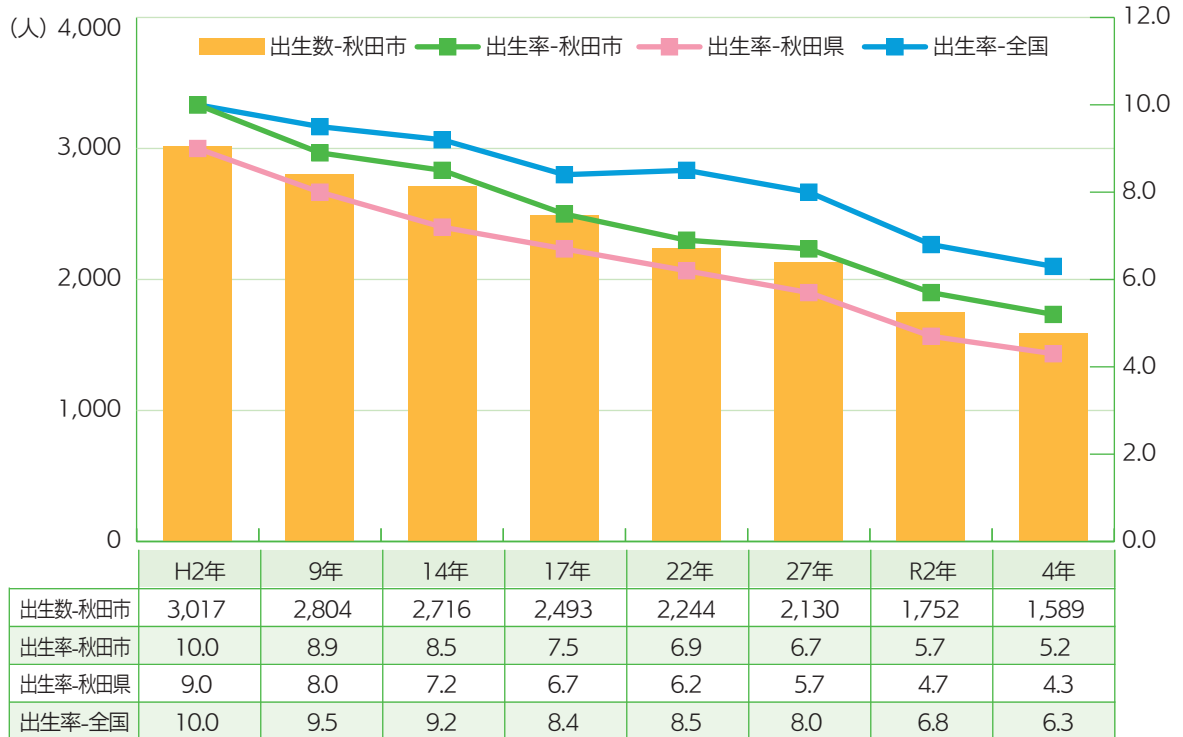
日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計) 国立社会保障・人口問題研究所

## (2) 出生と死亡の動き

秋田市の出生数は、平成2年までは3千人を超えていましたが、平成29年に1,987人と2千人を割り、令和4年には1,589人まで減少しています。なお、出生率は、秋田県よりも高いものの、全国を下回っています。

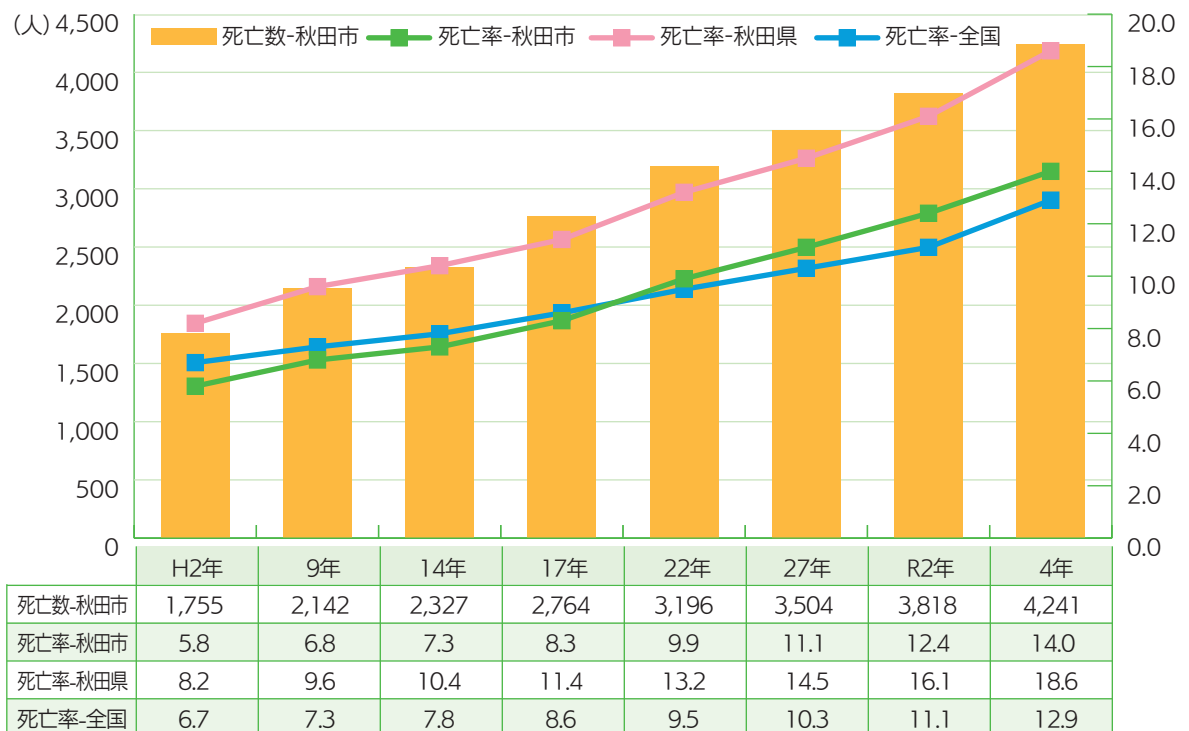
秋田市の死亡数は、昭和40年以降、増加を続けており、令和4年には4,241人となっています。なお死亡率は、秋田県よりも低く推移しているものの、平成18年以降、全国を上回っています。

グラフ2 出生数と出生率の年次推移(人口千対)



資料：秋田市の人口動態 令和4年までのあらし

グラフ3 死亡数と死亡率の年次推移(人口千対)



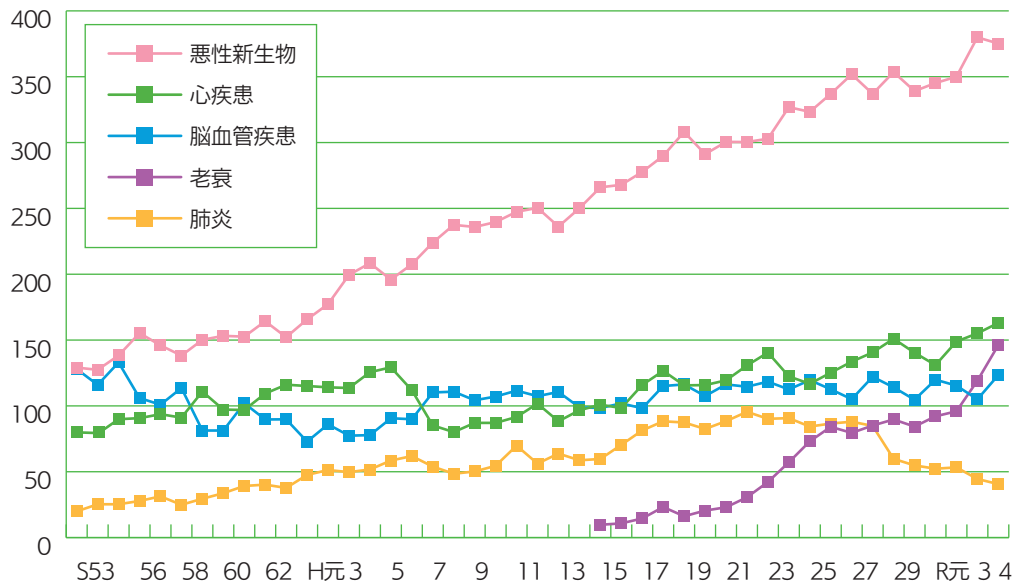
資料：秋田市の人口動態 令和4年までのあらし

### (3) 主要死因別死亡率の年次推移

令和4年の主な死因別の死亡率(人口10万対)をみると、悪性新生物375.2、心疾患163.0、老衰146.2、脳血管疾患123.4、肺炎40.6などとなっています。

年次推移をみると、悪性新生物は年々増加しており、昭和53年以降死因順位の第1位となっています。心疾患および脳血管疾患は、概ね横ばいで推移しています。

グラフ4 主要死因別死亡率の年次推移(人口10万対)

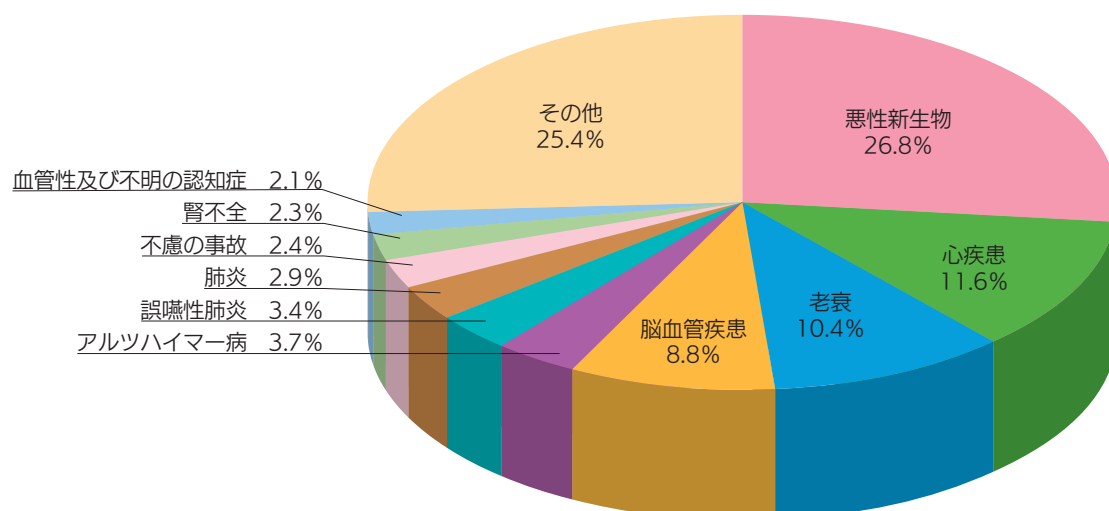


資料：秋田市の人口動態 令和4年までのあらまし

### (4) 主要死因別疾患割合

令和4年の秋田市における死亡数は4,241人で、死因の第1位が悪性新生物で1,137人、第2位が心疾患で494人、第3位が老衰で443人、第4位は脳血管疾患の374人となっています。生活習慣病とされる3つの死因(悪性新生物、心疾患、脳血管疾患)で、全死因の47.2% (割合は死因ごとに四捨五入)を占めています。

グラフ5 主要死因別疾患割合(令和4年)



資料：秋田市の人口動態 令和4年までのあらまし

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

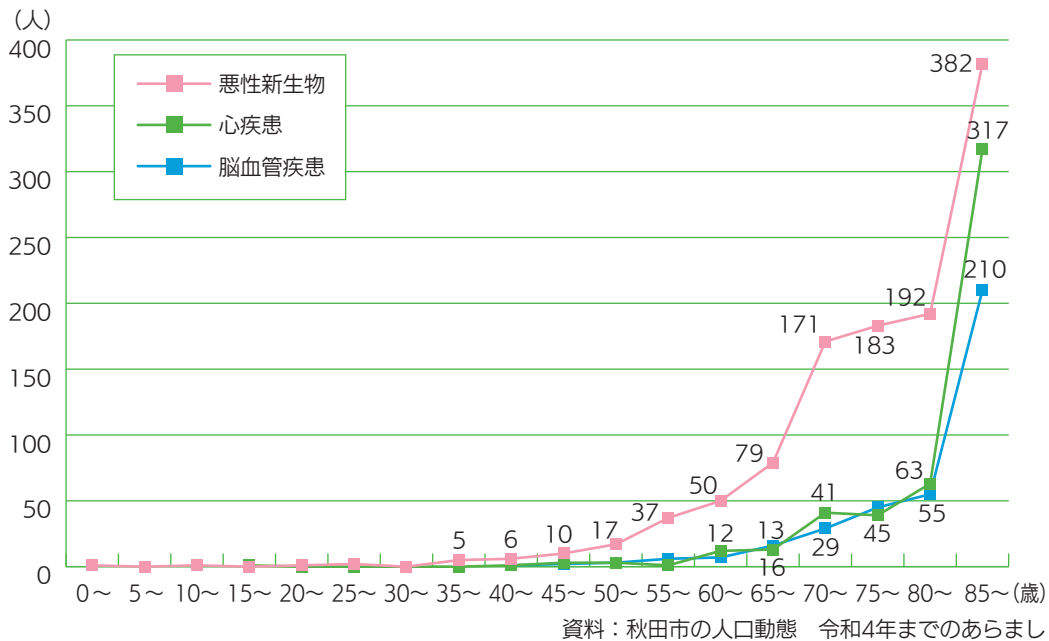
第6章

参考資料

### (5) 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の年齢階級別死亡数

令和4年の秋田市における悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の死亡数を年齢階級別にみると、心疾患と脳血管疾患は、60歳代前半から増え始め、80歳代後半以降は急増しています。悪性新生物は、40歳代後半から増え始め、80歳代後半以降に急増しています。

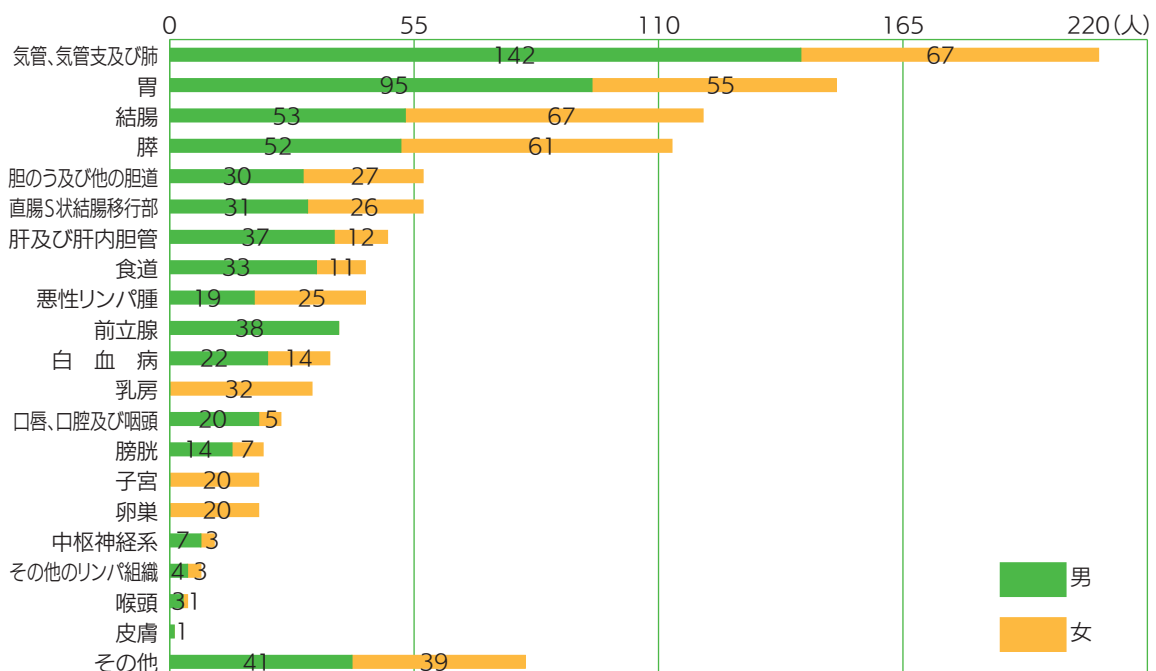
グラフ6 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の年齢階級別死亡数(令和4年)



### (6) 性・部位別にみた悪性新生物死亡数

令和4年の秋田市における悪性新生物による死亡数を性別・部位別にみると、肺がんが209人(男142人、女67人)と最も多く、全体の18.4% (男21.6%、女13.0%)を占めています。続いて胃がん150人(男95人、女55人)、結腸がん120人(男53人、女67人)などの順となっており、1位の肺がんとは10年間順位の変動がありません。

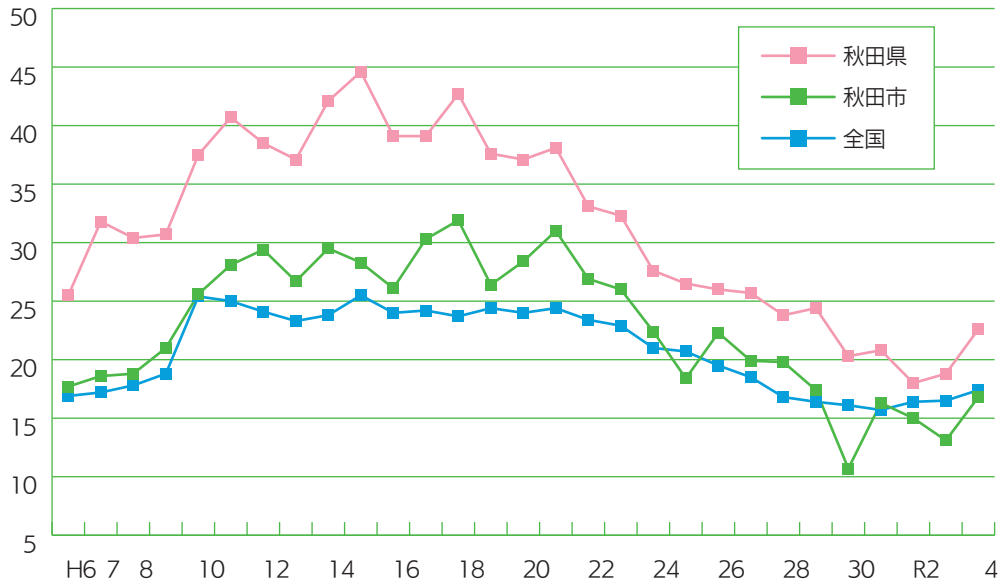
グラフ7 性・部位別にみた悪性新生物死亡数(令和4年)



(7) 自殺死亡率の年次推移

自殺死亡率の推移をみると、秋田市、秋田県、全国ともに平成7年以降上昇傾向にありましたが、平成22年以降は緩やかに低下しています。秋田市は、秋田県よりも低いものの全国よりは高く推移してきましたが、近年は全国との差は縮まる傾向にあります。

グラフ8 自殺死亡率(人口10万対)の年次推移

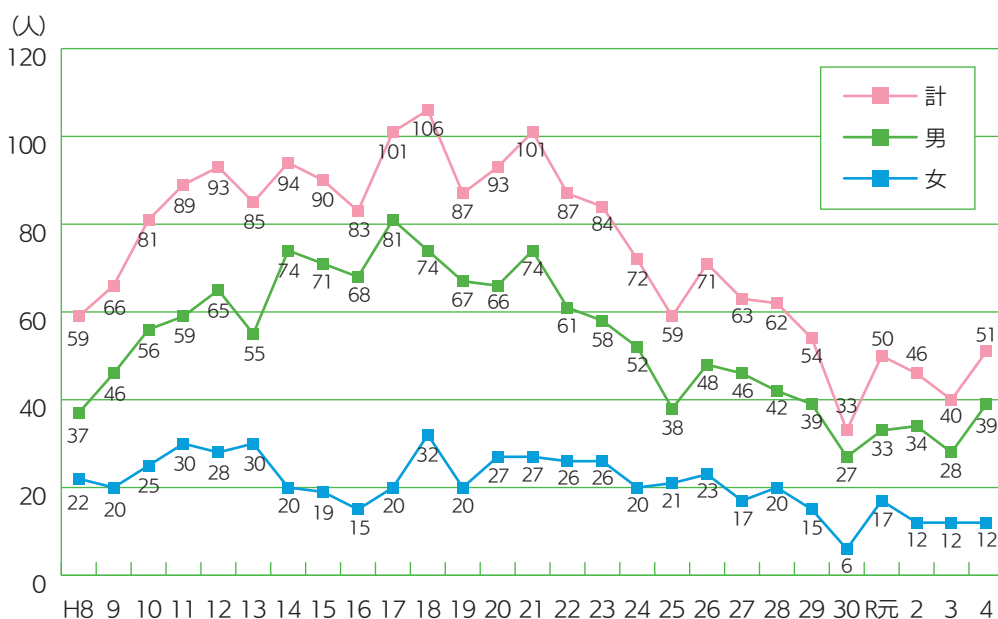


資料：秋田市の人口動態 令和4年までのあらし

(8) 自殺死亡数の年次推移

秋田市における自殺死亡数の推移をみると、平成22年以降減少傾向が続いていますが、令和4年の自殺死亡数は51人となり、令和3年と比べて増加しました。自殺死亡数を男女別にみると、男性が女性を上回っており、令和4年では男性の自殺死亡数が全体の76.5%を占めています。

グラフ9 自殺死亡数の年次推移



資料：秋田市の人口動態 令和4年までのあらし

(9) 国民健康保険被保険者における一人当たりの年齢別医療費の推移

一人当たりの年齢別医療費は、30歳代以降増加しています。また、10歳代以降、医療費は年々増加しています。

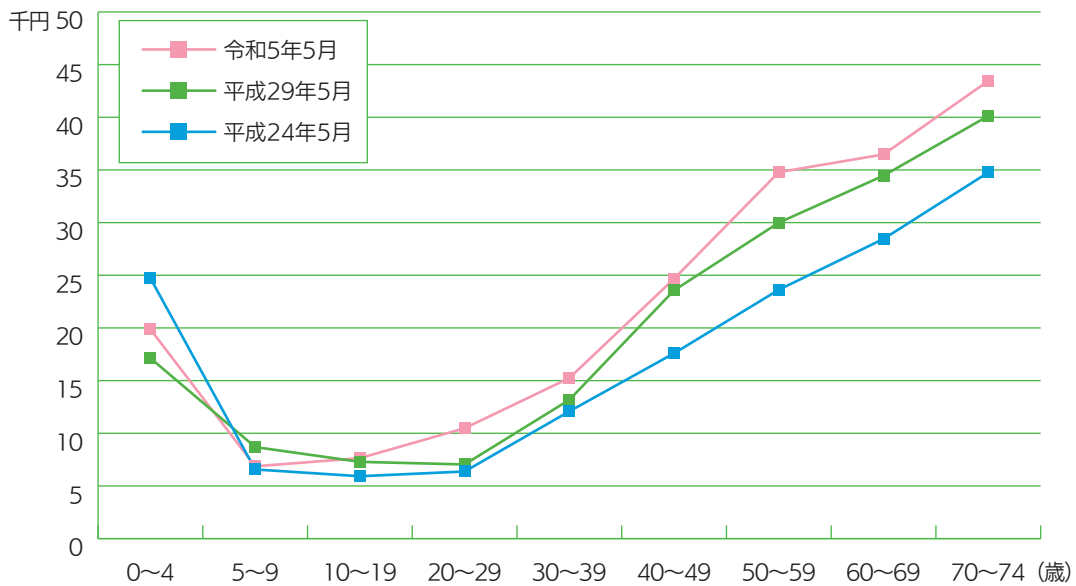
表2 一人当たりの年齢別医療費の推移

単位：円

年齢	平成24年5月	平成29年5月	令和5年5月
0～4	24,715	17,133	19,861
5～9	6,566	8,691	6,865
10～19	5,922	7,287	7,640
20～29	6,372	7,041	10,477
30～39	12,085	13,175	15,243
40～49	17,594	23,570	24,669
50～59	23,626	29,994	34,787
60～69	28,452	34,457	36,473
70～74	34,763	40,128	43,455

資料：秋田県国民健康保険団体連合会統計資料から秋田市分を集計

グラフ10 一人当たりの年齢別医療費の推移

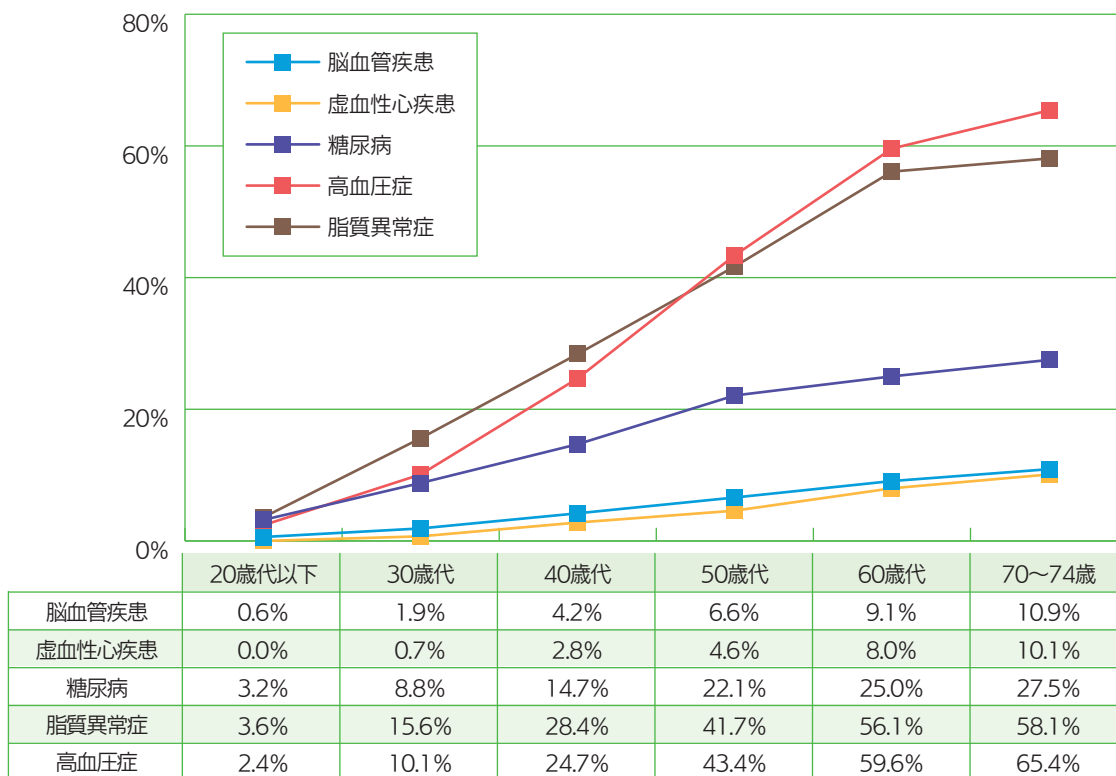


資料：秋田県国民健康保険団体連合会統計資料から秋田市分を集計

### (10) 国民健康保険における生活習慣病の状況

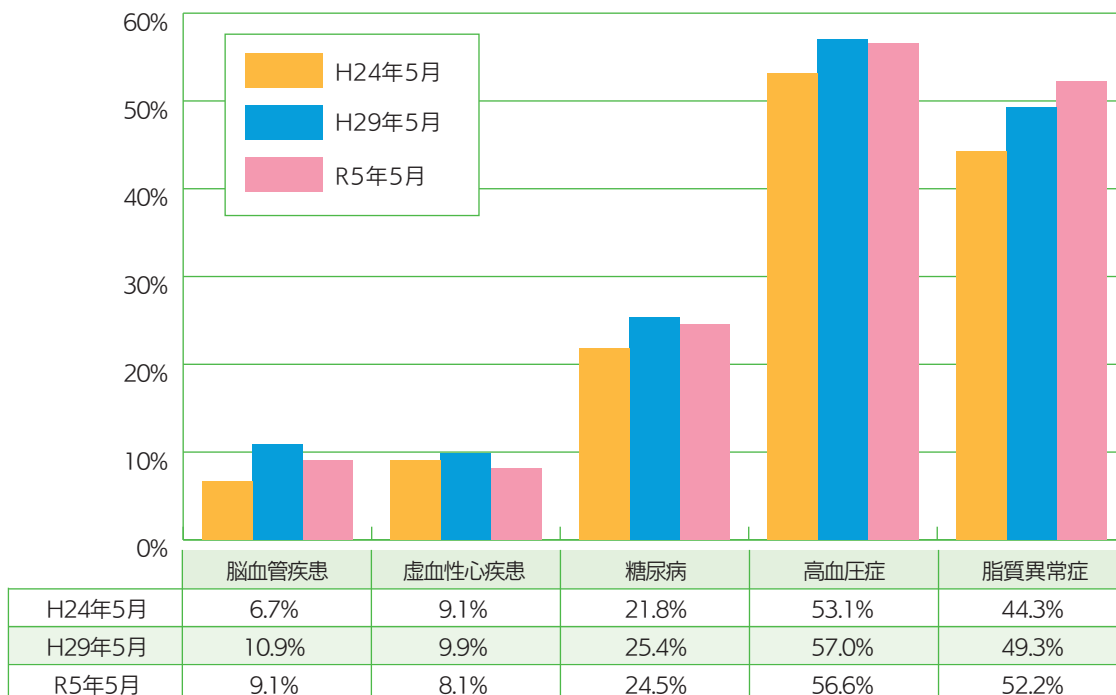
生活習慣病患者は、年齢が上がるごとに増加しています。特に高血圧症と脂質異常症の患者の割合が高くなっています。

グラフ11 主な生活習慣病の年齢階級別被保険者に占める割合(令和5年5月診療分)



資料：秋田県国民健康保険団体連合会統計資料から秋田市分を集計

グラフ12 主な生活習慣病患者の割合(各年5月診療分に占める割合)



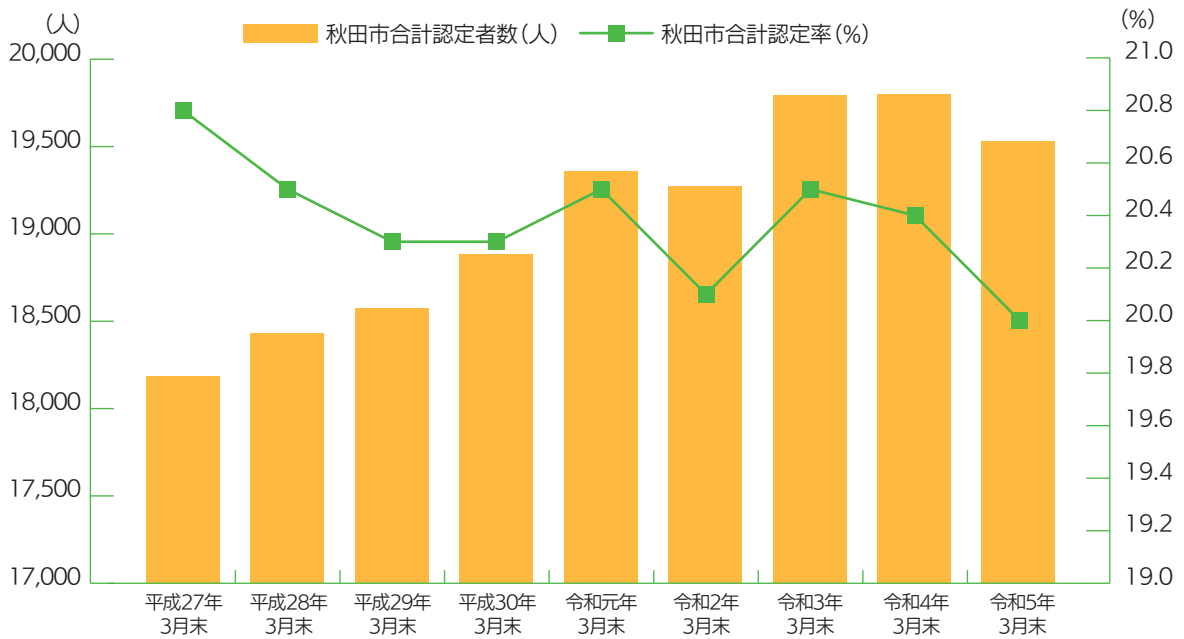
資料：秋田県国民健康保険団体連合会統計資料から秋田市分を集計

## (11) 介護保険の状況

要介護認定者数は増加傾向でしたが、令和4年度は減少しました。また、要介護認定を受けていない後期高齢者が増加しているため、認定率は減少傾向にあります。

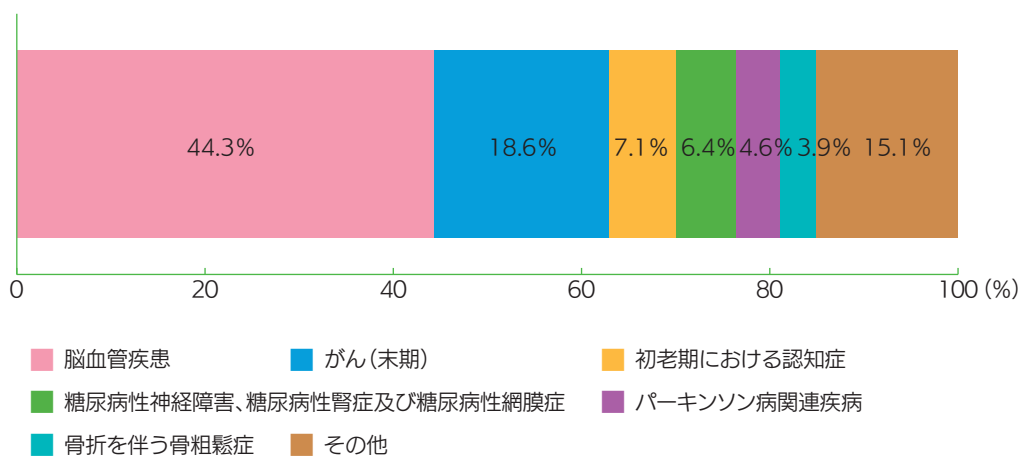
介護が必要となった原因疾患については、40～64歳の介護保険第2号被保険者では脳血管疾患と末期がんで6割以上を占めています。

グラフ13 要支援・要介護認定者数および認定率の推移



資料：厚生労働省 介護保険事業状況報告

グラフ14 介護保険第2号被保険者の介護認定時の原因疾患(令和5年4月1日現在)



資料：秋田市介護保険課提供